

柏ビレジ自治会便り

11/12月号



# 柏ビレジ・ニュース

2010年12月4日  
柏ビレジ自治会発行  
自治会事務局（自治会館）  
TEL 04-7132-1925  
FAX 04-7132-1965



## 新年餅つき大会

平成23年1月9日(日)午前11時より  
近隣公園にて開催  
当日はお椀とお箸をご持参ください。

## 冬季防犯パトロール 防災部

今年も年末年始にむけて、防犯パトロールがあります。ふるってご参加ください。

[実施予定日]

12月12日(日)18日(土)19日(日)  
25日(土)26日(日)/1月15日(土)16日(日)

- ◆11月28日(日) クリーン作戦
- ◆12月12日~1月16日 冬季防犯パトロール
- ◆1月9日(日) 新年餅つき大会
- ◆1月30日(日) 凧揚げ大会
- 午前10時受付
- ◆2月20日(日) 防災訓練/午後1時より



## クリスマスイルミネーション

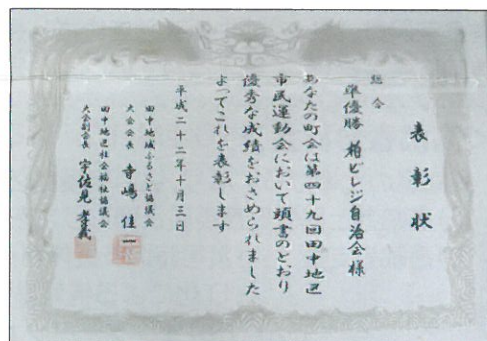
夜空に星の光がしんと冴えわたる頃、ビレジでもあちこちにクリスマスのイルミネーションが目立つようになってきます。昨近ではLED電球の普及が、イルミネーションの輝きや多彩な色合いに一役買っているようです。写真左のお宅でも、11年半ばかり年内いっぱい飾り、もう15、6年続いているとか。子供たちと楽しむために始めたことも、すっかり成長された今では、シンプルにセンス良くと逆にアドバイスされることもあるそうです。きっかけはご主人がニューヨークに出張した折に見た現地のイルミネーション。ホームセンターで材料を購入、オリジナルなものを含め、二日ばかりで飾ります。近年では柏市の広報に取り上げられ、また新聞や雑誌の取材もあり、毎年この時期を心待ちに見に来られる方も多く、やめられなくなっていますとのこと。夜の街に浮かぶイルミネーションはとてもロマンティックですね。

## 柏ビレジ、堂々の準優勝!!

### 田中地区運動会



10月3日(日)に田中中学校で行われた田中地区運動会で、柏ビレジは、準優勝という成績を納めました。子供会の皆さんの応援合戦(準優勝)や、長縄とびは2位になり、事前準備が実りました。今年には疾風太鼓の皆さんが初参加。地域の人々に勇姿を披露し、また綱引きをはじめ、いろいろな競技にも参加して大きなパワーをくれました。リレーは準優勝、ボールリレー3位など、賞状は5枚にもなりました。



▼あるコンビニ店には梅干1個が売られている。もちろん、微妙な味付けと凝った大粒な梅干である。TVのニュースでは、コンビニの佃煮が一人前、一食用に売られていると報じられていた。単身者が一回で食べられるようにとの狙いだろうか、保存食である佃煮や梅干となるとやはり驚きである。コンビニに限らず、スーパーなどでも単身生活に便利な少量、小型化された食品や惣菜が増える傾向にあるようだ。国立社会保障・人口問題研究所によると、1980年に42%を占めていた標準世帯(夫婦と子供二人)は直近のデータでは28%に過ぎず、単身世帯の31%を下回っている。2030年には標準世帯は22%まで低下し、逆に単身世帯は37%に拡大すると予測されている。まさに高齢化社会の急速な進行・結婚の高齢化や未婚・離婚の増加、高齢者が伴侶を失う、などが単身世帯急増の背景だろう。



## 急増する単身世帯

▼最近号の「日経ビジネス」には、家族消費時代の終焉「ファミリー市場は衰退、シングル市場が主流」という記事が載っている。家族で食事を楽しむファミリーレストランが苦戦し、牛丼、ラーメン、立ち食いそばなど、単身客が主体の外食チェーンが活況、家族用のステレオセットが衰退し、個人で楽しむヘッドフォンステレオへの移行、電話やネット、メールという最も個人的な携帯電話の爆発的な普及など、商品の動向も単身世帯・シングルマーケットを主体に考えざるを得なくなっているようだ。デジタル化と減税効果で活況の46インチ、50インチといった薄型大画面テレビも、家族と一緒に楽しむというより、一人で大画面の迫力を満喫する例が多いような気がする。

▼地域活性化、農業再生、子供手当など少子化に歯止めをかける諸施策が盛んに議論されている。一方、ファミリー市場からシングル市場への流れに敏感な企業は、単身生活に便利で魅力ある商品や生活スタイルを次から次へと提案、大量の広告費を投入し、さらに個人の楽しみ方の多様化もあり、逆に単身世帯の増加に拍車をかけることになって行くという気がする。戸籍上生存している100歳以上の高齢者の内、23万人以上が所在不明、身元不明のまま亡くなる「行旅死亡」の急増、10年以上に亘って3万人を超える自殺者、孤独が主な原因という高齢者の万引き事件が過去最高の2万7千件...家族という絆を失った「無縁社会の闇」という、ある新聞の表現に懐然とさせられる。

▼柏ビレジ自治会広報部 萩原辰雄 (本稿は筆者在10月21日に新潟県の柏崎コミュニティ放送局の「東京発柏崎」の番組で放送した内容を加筆訂正したものである。)

## 【自治会ホームページについて】

自治会では、ホームページを作成、今後の運用に向けて、専用のノートパソコンとプロジェクターを購入いたしました。ホームページは現在作成中です。開設が決まり次第、紙面にて詳しくお知らせいたします。なお、回覧やビレジニュースでのお知らせは今までの通りです。

## 【汚水処理場施設について】

11月6日(土)に柏市役所・東急不動産・自治会にて、今後の下水整備と汚水処理場についての第1回目の協議を行いました。

## 図書ボランティア 便り

### ☆図書室まつり☆

12月11日(土) 午後1時30分から  
場所はビレジ近隣センター図書室です。手作りの紙芝居を見て、作って、歌って楽しいひととき! お子さんといっしょにご家族の方も童心にかえってみませんか? お待ちしています。なお、はなみぎにて12月6日~11日に、これまで作った紙芝居の一部を展示します。皆で力を合わせて作ったのです。是非ご覧ください。

# 「柏ビレジ夏祭り2010」フォト・コンテスト 受賞作品発表!!



## ◆最優秀賞◆ 武内澗三様 「ハイ、チーズ」

作品のご応募ありがとうございました。どの写真からも夏祭りの楽しさいっぱいの熱気が伝わってきました。結果は、はなみずき来場者による投票数により決定いたしました。10月16日(土)、受賞者には押田会長から表彰状と賞品が授与されました。



◆優秀賞◆ 関根奉允様 「ジャズ・コンサートを終えて」



◆優秀賞◆ 飯沼圭哉様 「疾風太鼓」



◆佳作◆ 水庫利重様 「待ったよ 打上花火」



◆佳作◆ 宮澤由千華様 「友達」

## 柏ビレジ活性化プロジェクトの活動

### 柏ビレジの将来を考える様々な取り組み

6月に発足した柏ビレジ活性化プロジェクトは、現在の自治会活動をベースに、ビレジの将来を見据え、様々な角度から今後のビレジの活性化に役立つことの検討を進めています。重要なテーマである、**高齢者**、**買物・交通等の生活**、**自治会活動**の今後、の3つの分科会を設け、ビレジの生活改善をめざし長期的な観点から、今できることを一つ一つ具体的に考え実行し、積み重ねていこうと考えています。

#### <高齢者分科会> 10年後、ビレジに住む高齢者は自活できていますか？

- 高齢者の比率が多くなり、生活支援が必要な世帯が増える。検討することは...
- 1) 高齢者と民生児童委員と関わり方を色々な角度から考えていきます。
  - 2) 高齢者支援
    - ・災害時の支援体制・ネットワーク整備及び自主防災の整備
    - ・IT化による情報提供
    - (例) インターネットショッピング 買物代行、安否確認等

#### <生活分科会>

- 交通の改善は、あらゆる世代の住民の生活に直接かかわってきます。買物の不便さも改善し、特に車の運転が難しくなった高齢者の足となります。交通手段の確保は最優先で取り組むべき課題と考えます。検討することは...
- 1) 現行路線バスルートの拡大(買物先、病院)、増便の可能性
  - 2) 独自路線バス運行の可能性
- 交通と買物の改善を生活の楽しさとともに進めていく「たなカー」プロジェクトも検討中。

#### <自治会検討分科会>

- 様々な角度から、自治会の在り方、将来の姿を検討します。検討することは...
- 1) 支部再編・統括による支部数の減少の可能性と役員数の見直し
  - 2) 役員の高齢化、1年間当番制の弊害の改善
    - ・事業を見直すことで役員の負担を軽くする。
    - ・役員任期2年化による長い目で案件を解決できる環境作りの可能性
    - 事業が減少するとビレジの停滞化がますます進むという弊害も。
  - 3) 田中地域の活動への柏ビレジ自治会参加の見直し。

### 女声合唱団「柏プリムラ・エ・コール」秋のふれあいコンサート



秋晴れの11月21日、花の井保育園では女声合唱団「柏プリムラ・エ・コール」16人の透き通るようなハーモニーがホール一杯の観客を魅了、大きな拍手を浴びていた。合唱団は今年で創立27年。指導と指揮の川村敬一氏によると、「こんなにまとまりの良い合唱団は他にありません。」川村氏はオペラ歌手としても活動、東京都合唱連盟の理事を務められ、多くの合唱団を指導するこの道の大家である。この日は、星野富弘作詞の「今日もひとつ」という女声合唱団組曲、ゴスペル、ジャズ風にアレンジされた「A little Jazz Mass」、観客と一緒に歌う「まっかな秋」、「中山晋平10のメロデー」と多彩で飽きさせない。合唱はブームのようで、柏市合唱連盟だけでも35の合唱団が加盟している。次のコンサートは来年6月。30周年を迎える「柏市民による合唱の集い」で「第九 第4楽章」を歌います。とリーダーの岡原清栄さん。普段の練習はビレジ近隣センターで毎週木曜日の午前中。随時団員を募集しており、練習風景を気楽にのぞいて欲しいそう。 (連絡先: 岡原清栄 電話 04-7148-5929)

#### <UDCK 大学と地域による公民学連携まちづくり組織>

柏の葉キャンパス駅ロータリーにあるUDCKでは、東京大学柏キャンパス一帯及びつくばTX柏の葉沿線の地域を取り上げ、魅力的なまちづくりのプロジェクトを企画しています。またプロジェクトを起点に、市民、自治体、企業が交流しながら、地域の将来像を描いていく新しい時代にむけた学生による研究も行われています。その中には、柏ビレジを研究テーマに取り上げているものがあり、柏ビレジ住民も参加して盛んに意見交換を行っています。またはなみずきでは、柏ビレジをテーマにした研究プロジェクトの展示、ビレジ内を走る将来の車をデザインするワークショップなどを行っています。

#### UDCK 2010がスタート

#### <2010年研究テーマ>

- 開発途中にある柏の葉キャンパス駅周辺及び街づくりが完成し年月が過ぎた柏たなか地区の「柏ビレジ」を取り上げ、魅力的なまちづくりを企画し、地域の将来像を描きます。柏ビレジについては
- 1) 高齢者ができるだけ長く居住し続けられる街の仕組み
  - 2) 同じ住宅地内で住み替えや更新を促進する仕組み
  - 3) 若い世代を街に呼ぶ仕組み
  - 4) 駅や商店などからの交通の提案
- のテーマを中心に研究が進められます。この研究を開始するにあたり、ビレジから、ビレジの現況(世代構成)、課題、要望を紹介し、以下のように説明して研究題材を提供しました。

1870戸からなる緑豊かな住宅地、柏ビレジは、住宅設計では著名な宮脇檀(みやわきまゆみ)氏の設計です。住宅内道路はクルドサック(住宅内道路を通り抜けができないようにする)という先進的な設計が採用されています。クルドサックを採用した住宅地はアメリカで、大恐慌直前の1929年NJ州のラドバーン地区で最初に作られました。80年近くたった今でも高く評価され、住宅・都市計画を学ぶ者にとっては基本中の基本となっています。また同時に優れた住宅地域だけでなく、それを維持してきた自治会組織も立派なものだと報告されています。宮脇檀氏は柏ビレジを設計するにあたり、このラドバーン地区をモデルにしたと言われています。早世した宮脇檀氏のためにも、柏ビレジの住環境を永く維持したいものと思っています。私たちのこの優れた住環境を何とか守り、年配者、若い人、幼児を持つ人、障害のある人などにとっても住みやすい環境を維持したいと思います。

これに基づき、11月17日に中間発表が行われました。ビレジ内隅々に停留所を設置した循環バスあるいは公共バス(市バス)等の導入、小学校等公共施設の開放、ビレジ内緑道の有効活用などのアイデア紹介がありました。今後さらに具体的に研究が進んでいきますので、発表等にご興味のある方はぜひご参加下さい。また紙面でもご紹介いたします。

#### はなみずき 予定

12月 6日~11日(土)	紙芝居用スケッチ画	図書ボランティア
12月 6日~11日(土)	手芸作品展	中村美智子様他
12月18日(土) 2:00	第2回マリンパ&ピアノコンサート	針生公博、浜野由香
12月25日(土)	本年度最終営業日	
平成23年 1月7日(土)	営業開始	
1月17日(月)		
~29日(土)	絵画、版画、工作作品展	花野井小学校の皆さん
1月31日(月)		
~2月12日(土)	絵画、書、作品展	田中小学校の皆さん